

■地方創生先行型交付金事業に係る効果検証結果

No.	事業名	事業概要	実施内容	事業費(円)	重要業績評価指標(KPI)			事業成果	外部有識者の評価		今後の方針等
					指標	目標値	実績値		評価	意見	
1	安田町総合戦略策定事業	町の地域特性や強みを分析しつつ、課題に的確に対応していくための「安田町総合戦略」を策定するために必要な専門的調査等を実施する。	専門的調査の実施経費: ・人口動向分析実施 ・町の将来人口の推計・分析 ・人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察	3,110,226				当初の予定どおり総合戦略の策定を行った。	総合戦略のKPI達成に有効であった	予定どおり総合戦略が策定されているため特に意見なし	本事業により総合戦略を策定し、当初の予定どおり事業を終了した。
2	高知大学連携事業	国立大学人高知大学と締結している連携協定に基づき、町のニーズと大学の有する人的・知的資源を有機的に結び付け、地域社会に還元することで、地域の活性化を図る。(連携分野:農業分野、健康福祉分野、観光・社会教育分野)	各分野の専門家を講師に招き講演等を開催。 学生の町内活動に要する経費等の負担。	67,622	講演回数	2回	1回	地域の活性化に向けた諸課題等について、高知県人文社会科学会を集落活動センターで開催し、約150名の参加者を得た。講演会回数は目標値に至らなかった。	総合戦略のKPI達成に有効であった	今後は大学連携協議会の開催などによりさらなる連携を図るとともに、住民が学びたいニーズをしっかりと把握し、取組みを進展させていくことが必要である。	平成28年度以降は学生の自主的な取り組みによるグループ、団体が行う地域活動を助成することにより、学生と町民との協働及び人的資源の活用による一層の地域の活性化を図る。
3	集落活動センター事業	地域コミュニティの中心的役割を果たしてきた旧中山小学校を改修整備した施設を活動拠点に、ふるさと応援隊(地域おこし協力隊・集落支援員)の支援のもと、地域のリーダーを中心に住民が主体となり、集落機能の維持、活性化を図るための各種事業を行う。	地域コミュニティの活動経費(イベント開催等) 地域の特産品である自然薯の種芋購入費用を補助	2,119,837	地域イベントの開催回数	2回	3回	中山を元気にする会を中心にイベントを開催し、地域住民をはじめ、地元小学生などが参加し地域の活性化が図られた。	総合戦略のKPI達成に有効であった	十分な成果が認められるので引き続き事業を実施するのが望ましい。	事業実施により一定の効果が確認できたため、イベントについては継続して開催していく。また、自然薯増産は3年間(H26からH28)の取り組みにより達成する予定
4	あつたかふれあいセンター事業	地域の集会所等を高齢者から子ども、障がい者等、誰もが集える地域福祉の拠点として利用し、世代間交流や介護予防施策等、地域の見守り支援や支え合いの居場所づくりを行う。	事業の実施主体となるJA土佐あき及び町社会福祉協議会への委託費	20,170,856	参加者の増加	10%	△18.5%	新たな開催場所の拡充を図りながら、介護予防施設ともあわせて世代間の交流の場や居場所づくり事業を実施し、町全体で12会場、延べ12,231人の参加があった。	総合戦略のKPI達成に有効であった	高齢化などにより目標値の達成には至らなかったが、子どもの参加が増えるなど一定の成果はあった。参加しやすい環境づくりに努めていただきたい。	事業実施による十分な効果が確認できなかったが、本事業は介護予防や誰でもが集える居場所として、継続的に事業を実施する必要がある。また、それに参加する住民それぞれが役割分担し、小さな地域コミュニティとして相互に支え合い、地域のニーズや課題をそれぞれの受け手に繋ぐ仕組みをつくる。
5	出会いのきっかけ応援事業	結婚適齢期の若者を対象に専門家による相談や、未婚男性の結婚への意識改革を促す講演の実施とともに、婚活イベントを開催し、若者の地域への定着と新生児を増やすことを目的とする。	講演や婚活イベント開催に要する経費の補助	300,000	カップル成立	3組	0組	婚活アドバイザーを招き、町内独身男性と婚活企画会や研修事業を実施し、自己啓発に取り組んだ。婚活イベントの開催には至らなかったが、これまでに参加した2組が本年度成婚した。	総合戦略のKPI達成に有効であった	本年度は研修に特化した取組みとなったが、今後は県の取組みとも連携を図っていく必要がある。	出会いのイベント企画を通して、独身者の意識を変えるセミナーを開催し、結婚するためのスキルを身につける。それに参加した者が平成27年度、2組成婚した。また、婚活を応援する各団体の意識の向上を図るため、婚活スタッフに対する研修も行う。
6	少子化対策事業(赤ちゃん誕生祝金)	子育て世帯の新生児誕生の際に、24ヶ月を上限に「お祝い金」を支給し、子育てしやすい町として出生数増加及び子育て世代の本町への転入促進を目的とする。	町に住み登録があり現に居住する子育て世帯に対し、新生児誕生の際の祝金の支給	2,890,000	新生児誕生	15名	13名	新生児を産み育てる家庭への助成を実施することで、子育てしやすいまちとして出生増加対策を行った。	総合戦略のKPI達成に有効であった	移住者の呼び込みに効果が認められた。今後も継続して事業を実施することが望ましい。	事業の実施により一定の効果が確認できたため、地元での出生数増加対策として、継続的に事業を実施する。新生児を生み育てる子育て家庭への助成を実施し、子育てしやすい安田を定着させ町外からの移住者の呼び込みも行う。
7	少子化対策事業(児童医療費助成)	子育て世帯の経済的負担を軽減し、次代を担う子ども達が健やかに育つことができる地域社会の構築、地域の活性化を図るため、医療費助成対象年齢を小学1年生から中学3年生まで拡大するもの。	15歳の3月末までの児童に対する医療費の助成	4,372,000	子育て世帯(20~40代)の転入	2組	2組	医療費助成対象年齢を小学1年生から中学校3年生(対象者114人)まで拡大することで、子育て世帯の負担の軽減をし、子育て世帯の転入を図ることができた。	総合戦略のKPI達成に有効であった	子育て支援において十分な効果が認められた。	事業の実施により一定の効果が確認できたため事業を継続する。平成28年度4月より児童医療の対象年齢を15歳になった3月末の児童から18歳になった3月末の児童に変更し、人口の定着、子育て世帯の転入をはかる。

■地方創生先行型交付金事業に係る効果検証結果

No.	事業名	事業概要	実施内容	事業費(円)	重要業績評価指標(KPI)			事業成果	外部有識者の評価		今後の方針等
					指標	目標値	実績値		評価	意見	
8	観光振興事業(農業体験ツアー)	都市部の親子を対象に町内で生産されるみずみずしい農作物の収穫を体験してもらうことで、交流人口の拡大とともに、町のファンを増やすことを目的とする。	イベント開催に係る経費(バス借上、事務用品など)	214,060	参加者数	30名	38名	募集定員を上回る参加があり、消費者に食の安心・安全を体験を通じて学んでもらうことで、本町で生産される農産物に関心をもってもらうとともに、交流人口の拡大を図ることができた。	総合戦略のKPI達成に有効であった	想定を上回る参加者で交流人口の拡大を図ることができている。	事業の実施により一定の効果が確認できたため事業を継続する。今後は参加者のアンケートを分析し体験内容の充実を図る
9	観光振興事業(安田川体験ツアー)	都市部の親子を対象に、日本一美味しい鮎が棲む自然豊かな清流安田川を体験してもらうことで、交流人口の拡大とともに、町のファンを増やすことを目的とする。	イベント開催に係る経費(バス借上、事務用品など)	210,879	参加者数	30名	45名	定員を大幅に上回る85名の募集があった。参加者には安田川での川遊びやアユのつかみ取りを通じて、安田川の魅力をPRすることができ、交流人口の拡大を図ることができた。	総合戦略のKPI達成に有効であった	想定を上回る参加者で交流人口の拡大を図ることができている。	事業の実施により一定の効果が確認できたため事業を継続する。今後は参加者のアンケートを分析し体験内容の充実を図る
10	観光振興事業(安芸広域市町村圏事務組合負担金(東部博覧会分))	高知県東部地域博覧会を開催し、町内に存在する観光資源を多くの観光客にPRし、交流人口を増やすことを目的とする。	事務局となる安芸広域市町村圏事務組合への負担金	4,810,589	東部博覧会期間中の来町者数	1万人	0.5万人	イベントの開催などによりマスコミ等への露出が増えたことで東部地域の知名度アップが図られた。	総合戦略のKPI達成に有効であった	東部地域の知名度向上につながったので、今後は、魅力の磨き上げなどにより更なる取組みをする必要がある。	予定どおり事業を終了し、平成28年度以降は「高知県東部観光協議会」を中心に広域観光を推進していく。
				38,266,069	(うち交付金充当額 27,362,000円)						